



成果につながる動画を企画する力を身につける

動画企画・制作担当者 養成講座

VIDEO PLANNING AND PRODUCTION STAFF TRAINING COURSE

2025年2月4日(火)開講

「動画」の中心には「企画」がある
成果を出すための動画を、
適切なリソース・体制で企画・制作するために

第24期

人気の秘密は、
話題の動画を手掛けた
講師陣による
直接指導。

98%

の受講生が
「大変有意義」「有意義」
と回答。満足度の高い
カリキュラム。

手を動かすだけでは到達できない

“目的を達成する動画”の基礎設計を実践を通じて学ぶ

動画が必要とされる

マーケティング領域

認知獲得

販売促進

Youtube広告

ストーリーズ広告

デジタルサイネージ動画

トレインチャンネル

タクシー広告

UGC/UGV

インストリーム広告

LP掲載用動画

メルマガ埋め込み動画

カタログ・チラシからの
遷移先動画

店頭動画

How to 動画

商品説明動画

高まり
動画

動画広告市場
約2.

「動画×現業」で拡張

マーケター ×動画



プランニングだけではなく実際に顧客を動かす成果物を自身の判断で作ることができる。

コピーライター ×動画



コピーライターが映像制作に入ることで、映像に「納得」と「共感」を付与でき、より動画の成果を高めることができる。

Web制作者×動画



動画をLPやWebページに展開することで、訪問者の態度変容の度合を一気に向上させることができ、また今後拡大する領域へ受注を拡大できる。

人事×動画



自社社員へのインタビュー動画を通じて自社の魅力を映像として発信できるため、従来、志望することのなかった人材に効果的にアプローチができるようになる。

シーンは、拡大の一途!

広報・PR・社内領域

社内

社外

従業員インタビュー

経営陣方針説明

教育・研修

業務マニュアル

商品説明会

社内報

会社説明会

決算説明・株主総会

展示会

カンファレンス

セミナー/ウェビナー

リクルートサイト

続ける
需要

は19年比で
4倍^{*}

する新しい可能性

インハウスデザイナー×動画 → マーケティング部が制作する動画に対してデザイナーの視点から改善提案ができる。

広報×動画 → プレスリリースでは動画へのリンクで即座にイベントや製品の特長を理解させ、社内へは躍動感のある情報発信で、高い広報効果を実現。

販促担当×動画 → あらゆる販促手法に「+動画」を活用することで、メールからのクリック率の向上や、店頭での販促プロモーションまで従来施策を一挙に変化させることができる。

SNS担当×動画 → 今や動画の最大の主戦場となったSNS。従来の画像や文字での発信に加え、動画の発信でより広範囲にリーチさせ、広く反応を獲得することができる。

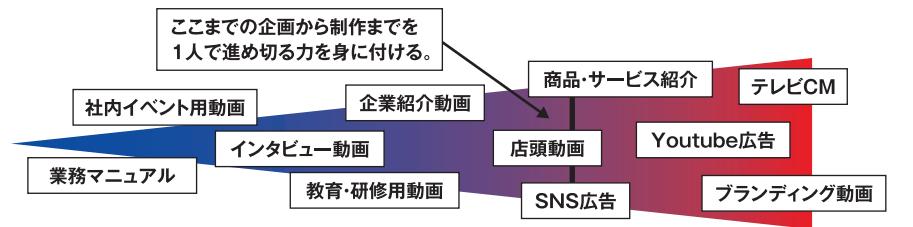
「動画」の中心には「企画」がある。

“目的を達成する動画”を適切なリソースで制作する体制を作るために

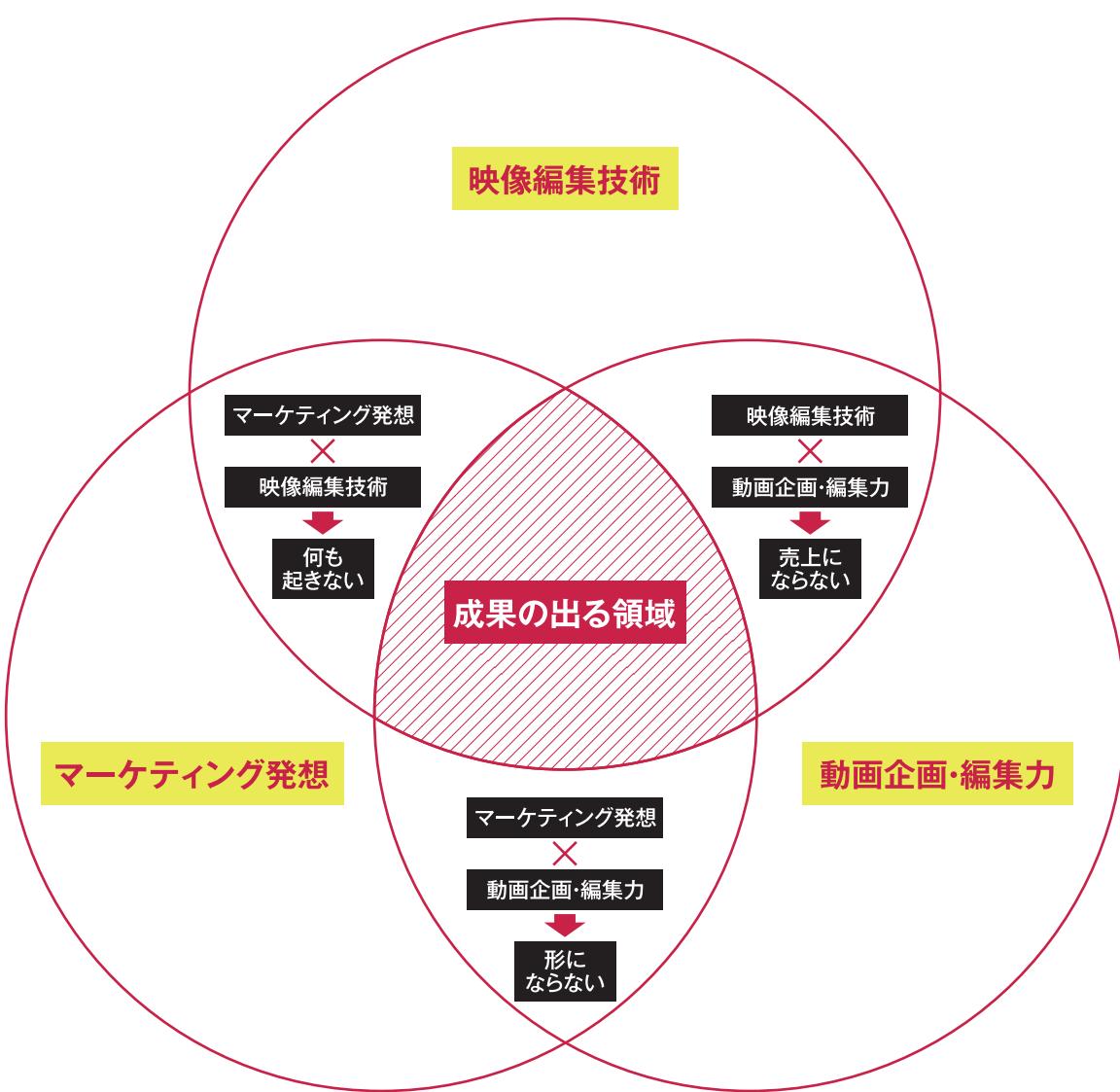
5Gの進展と共に、日常のあらゆるシーンに浸透した「動画」。しかし、その動画トレンドに乗り、映像を制作しても「大金をかけて制作したのに商品の売上に全く影響がない」など盛り上がりに反して、期待した成果を生み出せない状況も発生しています。そうならないためには、動画を「企画」する思考力が必要です。そこでコミュニケーション領域で専門的な教育プログラムを65年に亘り実施してきた宣伝会議が、動画領域における「企画」を軸に、マーケティング領域で成果を出すための動画制作のイロハを学ぶ「動画企画・制作担当者養成講座」を開講します。

本講座で学ぶ領域

本講座ではこれから動画制作を進める方でも、社内向けの動画から外部に向けた簡単な商品・サービス動画まで“企画～制作”を一人で進められる力を身に付けることを目的としています。



動画は「3つの要素」の組み合わせで制作が可能になる。



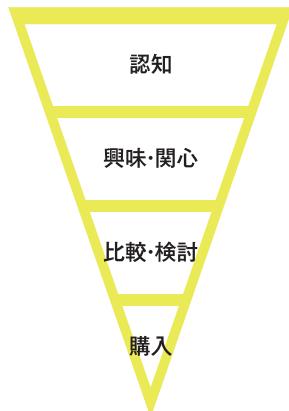
マーケティング戦略に基づいた目標を設定し、動画に必要とされる役割を特定。そして、それに基づき、予め必要となる要素と各シーンとの関係性を明示した上で映像制作に入る。これによって動画と当初のイメージとの認識の差を抑え、予定した成果に近づくことができる。

講義で学ぶ3つの力

POINT 1

マーケティング発想

顧客の状況に合わせた制作



商品属性に合わせた制作

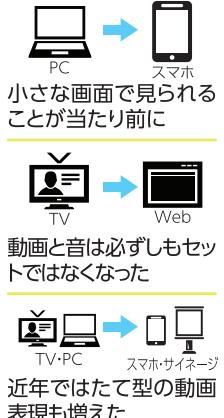


顧客の状況に応じて、作るべき動画は異なる。
この理解が「空振りする動画」を未然に防ぐ手立てとなる。

メディアの変化に合わせた制作



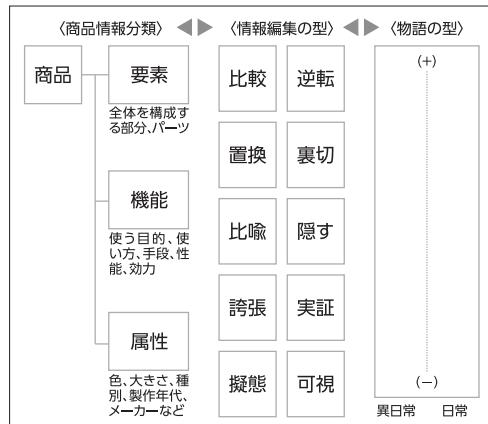
場面に合わせた制作



POINT 2

動画企画・編集力

王道の構成から、王道の裏切り方まで、
安定して高クオリティ動画を制作する構成を学ぶ。



映像を動画にするために、動画クリエイティンプの「型」を学ぶ

シナリオの黄金律を把握した上で
より詳細な絵コンテに落とす。



いきなり撮影ではなく、
シナリオ、ストーリーが
十分に練られた上で、
動画表現を考える必要がある。

内容	構図:カメラワーク	尺
1 「(仮)家族の想い」 テロップ(フォントは太明朝)	3	3
2 オフィスでデスクワークをしている男性(主人) 椅子の上に置かされている携帯があり、メールを読む	3	3
3 開く	3	3
4 思わず「やったー！」といい風に立ち上がる。 携帯の画面には病院のベッドで微笑む女性の妻と、生まれたばかりの娘(主人公の)岑美。	4	3
5 病室に妻と微笑む父。名前書を持っている 住友生命職員も訪ね家族に挨拶(おじぎ)	3	3
6 おじぎ	3	3
7 父親に花束を渡す難民 職員の襟元にロゴバッジ	3	3
8 娘を笑顔で見つめる父親	3	3
9 娘、成長していく。	4	3
10 花壇で花を植える主人公。 歩いてきて、見つけた花壇の前の前で種をまく(ジョウコウ)水をやる。	4	4
11 父母がやさしくて、花を見つめている娘を見て、微笑む。周囲の人も集まって、ほほえましく見ている。その中のひとりに住友生命職員もいる	5	5
12 育った花を花束にして、両親に贈る主人公。	4	4
13 画面いっぱいに花束。 カラフルな花束から引いていくと、そこにはリビングルームのローブック。	3	3
14 テーブルの上に置かれた花束とHappy birthday!と描かれたケーキ。	3	3

POINT 3

映像編集技術

自動販売機でジュースを買うという行為だけでも、動画のクオリティに歴然の差

素人にありがちな動画



- ・プレス
- ・定点撮影
- ・なんとなく全身を撮影するだけ (ストーリーがない)
- ・目的が伝わらない
- ・見せ場がない

etc.

魅力的な動画



- ・見せたい画にフォーカスしている
- ・ストーリーがある(動画によってオチが異なる)
- ・構図に気を配っている
- ・間や流れが自然(気にならない)

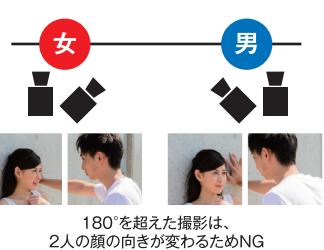
etc.

与えたい印象と撮影テクニックの基本

情報量で印象が変わる



180°ルール



180°を超えた撮影は、
2人の顔の向きが変わるためにNG

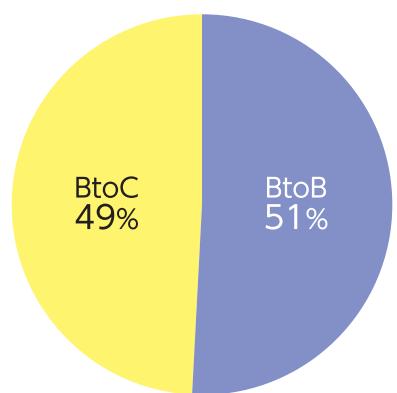
編集にも生きるプロの撮影テクニック



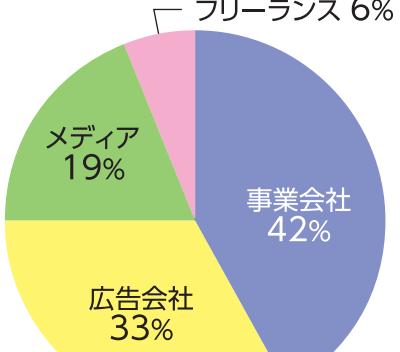
単に走る子供を撮るよりも、顔→体→足→後姿と撮影したほうが躍動感が出る

受講者の属性

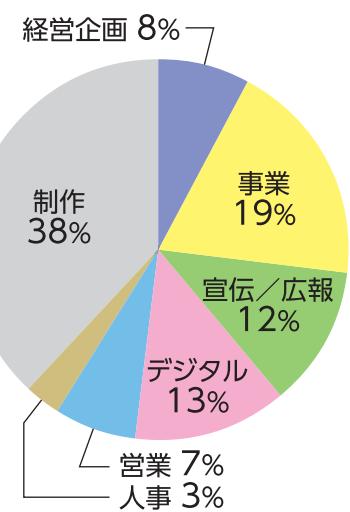
■BtoB企業と
BtoC企業の割合



■企業の割合



■職種の割合



- 事業会社の例：化粧品、旅行、レジャー、音楽、映画、小売、スポーツ、通信、IT、エネルギー、金融、商社、医療、人材、インフラ、エレクトロニクス…
- 広告会社の例：総合、クリエイティブ、PR、SP、専属、印刷…
- メディアの例：テレビ、新聞、雑誌、インターネット、SNS…

修了生の声

「実務に役立つか」という質問に対しての満足度 4.54/5点!

ただ話題になっても、ちゃんと課題を設定しなければ、それだけで終わってしまう。課題の設定と、それをどう解決し話題にさせるかが分かった。

(広告関連会社 クリエイティブ)

興味をひきつけるために、どのように物語をつくりていけば、より感動を伝えることができるのかよく分かった。

(IT 営業企画)

聞くだけの講義ではなく、手を動かす、他人の作品を見るといった経験を積むことができたため身になった。

(メーカー Web)

動画自体だけでなく、広告・WebでのPR含めた全体設計を学ぶことができた。

(教育 販促)

同じカットでも全く違うシーンになるんだと、実感できました。今回の絵コンテを、シナリオを考える際に活用したい。

(広告関連会社 プランニング)

一つ一つ、動画の作り方の段階を上っていると感じます。ただただ、楽しい。

(小売 マーケティング)

成功事例のメソッドや、シェアされやすい感情トリガーが図になっていてそのまま実務で使える。

(通販 マーケティング)

話題の動画を手がけたクリエイターの方から、アイデアをクリエイティブ・ジャンプさせる発想方法が学べた。

(メディア 制作)

脳科学や心理面について、これまであまり意識せずに動画を作ってきたが、必要な理論を習得できた。

(広告関連会社 営業)

自分にとって一番の財産になったと思うのは、動画の世界をもっと知りたいという欲求を持てたことかなと思います。

(団体 広報)

上司に、動画の構成を提案する際に「以前より具体的になり、任せられそうだね」という評価をいただきました。

(建築会社 営業)

動画作成についてどこから手をつけるべきか分からなかったが、頭の整理ができた。

(財団法人 広報)

グループワークでの同グループメンバーの皆さんはじめ、短時間にも関わらずアイデアの幅がとても広く、スラスラと出てくることに感心、刺激を受けました。

(デザイン制作会社 デザイナー)

受講前は、動画は文字同様情報伝達のツールだと思っていたが、伝わる動画、シェアされるには「情報プラスアルファの何か」がなければならないのだと痛感しました。

(学校法人 広報)

ただ動画をつくるだけでなく、ブランディングの部分から企画して考え作成していく意識をもつことができた。また、自分が持っていた動画に対する考え方方が実績のある講師の方の話から間違っていない部分も見つけることができ自信にもつながった。

(印刷会社 企画)

講師陣の紹介 ※最新情報をWebサイトにて掲載いたします

あらゆるデータを活用し、視聴者へリアルタイムにカスタマイズしたパーソナルな動画で新しい顧客体験を提供するイスラエル企業の日本営業を統括



平松 隆成氏 Idomoo Ltd. Japan Country Manager

ハリウッドで映画学科を卒業し、クリエイティブ集団ネイキッドで映像ディレクター/プランナー/プロデューサーとして活動。その後、総合映像プロダクション東北新社グループのモバーシャルでマルチクリエイターとして経験を積み、BtoBマーケティング/広報PR/デジタルマーケティングなどの広報/マーケティング業務に従事し、責任者としてチームを牽引。現在はイスラエルIdomoo社のカントリーマネージャーとして、データを元に動画を動的に作る“Idomoo Next Generation Video Platform”的日本営業担当として、新しい動画活用の普及に努める。

動画の企画・制作に精通する実務家



本田 裕太郎氏 スリーダブルー 代表取締役 CEO クリエイティブディレクター

九州ビジュアルアーツ・映像クリエイター学科へ入学。学生時代200本を超える動画作品を作り、最優秀理事長賞を取得。2007年東京に進出し、若干20歳の若さで民法TVCのディレクターとして任命される。その後、07年12月、映像制作会社の立ち上げメンバーとして参加。18年独立後、動画のみならずエンターテインメントを中心とした、クリエイティブディレクター／総合プロデューサーとして活動している。

電通 鬼ムービー クリエイティブ、PR、メディアの専門家が一同に終結 オンライン動画のプランニングから制作・PDCAまでを解説



眞鍋 亮平氏 電通 クリエーティブ・ディレクター

一橋大学社会学部卒業後、1997年に電通入社。CMプランナーを経て、2014年からクリエイティブ・ディレクター。20年からNewsPicks StudiosのChief Creative Officerも兼務。主な仕事は、YouTube「好きなことで、生きていく」、ポカリスエット「ポカリガチダンス」「ポカリNEO合唱」など。16年 One Show Interactive、21年Spikes Asia審査員。カンヌライオンズゴールド、クリオゴールド、アドフェストグランプリ、ACC賞など国内外の受賞多数。20年クリエイター・オブ・ザ・イヤー。



森 友佑氏 電通 クリエーティブ・プランナー

九州大学芸術工学部・大学院芸術工学府卒業、2011年電通入社。運用型広告コンサルタント、コンテンツマーケティングプランナーに従事したのち、電通「CXクリエーティブ・センター」にて、主にデジタル領域の戦略・企画制作・配信設計をまるっと担当中。



根本 陽平氏 電通PRコンサルティング/PRX Studio Q PRプロデューサー

1985年秋田県生まれ。PR一筋で全体のコミュニケーションプランニングをPR視点で行うことを心がけている。大正大学非常勤講師。Yahoo! JAPAN「UPDATE DOCUMENTARY PROJECT」公式サポートー。共著に、「PR思考」「自治体PR戦略」。Global SABRE Awards(「世界のPRプロジェクト40選」2度)、PRWeekAwards Asia(7年連続)などを受賞。メディア掲載に朝日新聞「ひと」、「クリ活2」など。

カリキュラム

テーマ	講義内容
Web動画の基本	動画の目的(バズ動画、ユーティリティ動画、エンタメ動画)／動画の歴史／従来の映像とWeb動画の違い／新型コロナウイルスの感染拡大と動画の関係性／売れる動画を作る方法／制作の基本／著作権とこれからの動画
撮影・編集テクニックと企画ワークショップ	最低限整えておきたい撮影環境／取り直しをしないための撮影のポイント／スマホ撮影時の設定とポイント／簡単で効果的な編集のコツ／ライブ配信のポイント／【ワーク】お題をもとに簡単な企画コンテを作成／各配信プラットフォームの特徴
クリエイターの発想メソッド①	メディアとの親和性を最大化させるために／目的を明快にするために生活者を深追いする／動画コンテンツを発想するときの心がけ／動画における表現モラル
動画制作の基礎・基本・動画に欠かせない必須要素	抑えておくべきデザインのルール／情報を漏れなく、正しく伝えるための画面レイアウト／違和感を生じさせないテロップの作り方
クリエイターの発想メソッド②	動画で課題解決をする「正しいアイデアの形」／視聴してもらうためのコンテンツ発想／多くの人に届けるためのバズメソッド
商品・サービス紹介動画に適した動画の編成	無味乾燥とした解説動画と最後まで視聴される動画の違い／改めて商品の魅力を伝えるために必要なこと／モノを前面に出すパターン／人を前面に出すパターン／商品説明動画に必要な「動画」としての編成
撮影・編集ワークショップと発表・講評	前回企画したWeb動画を、手持ちのスマートフォンと体験版のアプリで撮影・編集してみる／有志で発表のうえ、講師よりフィードバックを行います
プランニングワークショップ① (座学)	オンライン動画の生態(TVCM型動画とブル型動画のちがい)／ファネル発想で企画する／オンライン動画のコミュニケーション設計／テレビCMとバズ動画の構造の違い／PR(世の中)視点、MEDIA(ユーザー)視点でクリエイティブアイデアを考える／ヒットするオンライン動画のための「鬼メソッド」(HERO動画をつくるためのティップス)
プランニングワークショップ② (演習)	「鬼メソッド」の活用法／個人ワークショップならびにグループワークショップと発表、講師から講評

※講師・日程・カリキュラムは変更となる場合がございます。最新のカリキュラムはWebサイトをご覧ください。

講座概要

- 開催日程：2025年2月4日(火) 19:00～21:00 全9回
- 講義形式：オンライン・ライブ講座 ※Zoomを活用予定
- 受講定員：20名
- 講義資料：PDFでの共有を予定(一部を除く)
- 受講料金：【スタンダード】125,000円(税込 137,500円)、【シンプル】100,000円(税込 110,000円) ※各コースとも申込金を含みます
- 欠席時：【シンプル】には動画補講がございません。動画補講をご希望の場合は【スタンダード】をお申し込みください
- 受講対象：企業の動画制作に関わる方、広告会社・広告制作会社の方、Web動画の制作に関わる方

お申込みはWebから またはこちらまで **→03-3475-3033**



会社情報	会社名			TEL
	住所			
申込者様	氏名	所属部署	役職	生年月日 年 月 日
	Eメール			
派遣責任者様	氏名	所属部署	役職	生年月日 年 月 日
	Eメール			
申込形態 ①企業申込（請求書を発行します） ②個人申込			宣伝会議からの情報 ①いる ②いらない ③すでに届いている	

お振込先： 三菱UFJ銀行 青山支店 普通 1145602 口座名義：株式会社 宣伝会議

※受講料について、開講前のご入金を原則とさせていただいております。入金が確認できませんと、ご受講いただけませんのであらかじめご了承ください。※受講は申込者本人様に限ります。他人に貸与・譲渡することはできません。※お申込み後のキャンセルは原則承っておりません。お席をお取引しておりますので、ご都合が悪くなってしまった場合は、代理の方によるご出席等をお願いいたします。但し、同一の講座を別々の方にご受講頂くことは禁止とされています。※一旦納入された申込金・受講料は、受講前・受講途中にかかるはずいかかる理由であっても払い戻しや次期への振り替えはできません。※天候不順によるアクシデントや講師の都合、受講者数が一定数を下回った場合等、諸事情により直前に開講日程が変更・中止となる場合がございます。その際、交通・宿泊費等の保証はできかねますので了承ください。※弊社と発注者は互いに暴力団、及びその他の反社会的勢力に該当しないことを表明・確約します。万が一、上記に反していることが判明した場合には、直ちに無条件で本契約を解除します。※弊社と同様の教育講座を開催している企業・人材紹介業・受講生への営業・勧誘等を目的とするご受講等に關しましては、査査の上、お申し込みをお断りする場合がございます。あらかじめご了承ください。※本申込書により株宣伝会議が取得した個人情報は受講手続きや各種連絡、講座運営、ダイレクトメールなどの方法で出版物や講座、イベントのご案内等をお送りするために利用します。プライバシーポリシー(<http://www.sendenkaigi.com/privacy/>)をお読みいただき、同意の上、お申し込みください。

お問合せ

株式会社宣伝会議 〒107-8550 東京都港区南青山3丁目11番13号

TEL : 03-3475-3030 E-mail : info-educ@sendenkaigi.com www.educ.sendenkaigi.com/class/